



中村哲物語

乾いた大地を緑に変えた医師

あ ら す じ

侵略や紛争、干ばつに苦しむ中央アジアの国、アフガニスタン。そこに暮らす名も無き人達の命を救うため、病院や診療所を作り、さらには井戸を掘り、全長25キロもの用水路を作った人物。それが、医師の中村哲先生です。

福岡で生れた哲は、ファーブル昆虫記に憧れる虫好きの少年でした。厳格な祖母から「弱いものは進んでかばえ、どんな命も尊い、大切にしろ」と教えられて育ちます。

精神科の医師になり日本で働いていましたが、ひよんなきっかけから、パキスタンやアフガニスタンで医療活動を行う事になりました。

2000年、アフガニスタンを大干ばつが襲います。「薬では命が救えない。水が必要だ!」と、白衣を脱ぎすて井戸を掘り、さらには土木建築を一から学び、激流・クナール河から水路を引きました。そのお陰で、ひび割れた大地に緑が戻り、生きるために戦争に参加していた男たちが故郷へと帰ってきたのです。

2019年12月、哲は凶弾に倒れましたが、今尚その志は受け継がれ、アフガニスタンでは水路建設が続いています。

DVDをより深く子どもたちが理解し、考える力をつけるために

視聴後に、簡単な声掛けや感想を書く事で、子どもたちの理解はより一層深まり、考える力が身に付きます。

- (1) 哲先生はどんな子どもだったかな？
- (2) 哲先生と、キミがにているところ、ちがっているところを考えてみよう。
- (3) 哲先生は、どうして諦めずに水路を建設できたんだろう。
- (4) 哲先生は平和のためにたくさん働いた。
キミは、平和のためにどんなことができるかな？
- (5) キミは、将来どんなことをやりたい？
そして、それをやり遂げるためには何が大切だと思う？
- (6) 「私はこんな風に思った」「私はここが面白かった」など、
お友達と色々な話をしてみましよう。
また、おうちの人にもDVDで見たことを教えてあげましよう。

